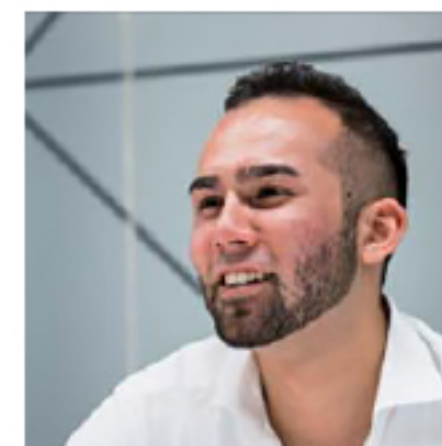


努力は報われる。自分が費やした分だけキックバックがある



マリンス 晃治さん

東京都東海大学付属高輪台高校出身
神田外語学院 グローバルコミュニケーション科
2011年3月卒業



Koji Mullins

エデルマン・ジャパン
クライアント ストラテジスト



message

自分に高いハードルを課す。プレッシャーのある環境に挑む。この学科で得るのはそれらを達成するという「成功体験」。自分の将来に期待している人、期待したい人に薦めたいですね。

お客様の真の成功に貢献したい

「コミュニケーション」という手段を使って世界を動かす——。これが私の仕事です。外資系PR会社であるエデルマン・ジャパンを知ったのは2年生の頃、インターンシップの募集を見つけたことからです。当時は会社が日本に進出し、まだ数年という頃。日本で動き出したばかりの企業で8ヵ月間も実務研修できたことは幸運そのものでした。現在の業務は、企業や自治体などを相手にしたコンサルティングに近いかもしれませんが。私はお客様の商品やサービスがただ市場に評価されれば良いとは思っていません。お客様と商品やサービスに関するコミュニケーションを重ねる中で、その企業が抱える課題も見つけ出すようにしています。そしてそれらも解決した上で、商品やサービスを市場へお届けする。つまり一時的なヒットではなく、お客様にとっての本当の「成果」を提供すること。常にWhy?という視点で、潜在する価値や課題、本質を見極めることが私のビジネスの根底にあります。

ほんの一時でも誰かの心に残る仕事を

父がアメリカ人ですので、英語での日常会話は幼い頃からできました。しかし私が在学中にまず徹底したのは「英単語」学習。英語が話せる＝英語の根幹がしっかりしている、ビジネスで通用するというものではありません。基礎ほど大切に、そして先生方からのアドバイスは忠実に実行しました。この考え方はビジネスでも大切にしており、準備には地道な努力を惜しみません。めざすのは誰かの生活や心を豊かにする仕事、記憶に残る仕事をする事です。例えば、他愛ない会話の中で、自分が関わった商品やサービスの名前があがる。これはその人の生活に何らかの印象を残した証拠でもあると思います。そのような時が仕事のやりがいを感じる瞬間でもあります。いずれは国際社会にインパクトを与える仕事をしたいと思っています。